



平成 29 年 1 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社パシフィックネット
 代表者名 代表取締役 上田 満弘
 (コード番号 3021)
 問合せ先 常務取締役
 コーポレートセンター長
 兼財務経理部長 菅谷 泰久
 (電話番号 03-5730-1442)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年7月15日に公表した平成29年5月期第2四半期（累計）の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 業績予想数値の修正

(1) 平成 29 年 5 月期第 2 四半期（累計）の連結業績予想数値の修正

(平成 28 年 6 月 1 日～平成 28 年 11 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,425	101	112	75	14.49
今回修正予想 (B)	2,251	△65	△56	△53	△10.34
増減額 (B-A)	△173	△167	△168	△128	—
増減率 (%)	△7.2	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成28年 5 月期第 2 四半期)	2,160	30	41	36	7.06

(2) 平成 29 年 5 月期第 2 四半期（累計）の個別業績予想数値の修正

(平成 28 年 6 月 1 日～平成 28 年 11 月 30 日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,410	112	75	14.49
今回修正予想 (B)	2,236	△48	△49	△9.57
増減額 (B-A)	△173	△160	△124	—
増減率 (%)	△7.2	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成28年 5 月期第 2 四半期)	2,163	46	36	6.98

2. 修正の理由

Windows X Pサポート終了にともなう情報機器の入れ替え需要の反動減が長く続いておりましたが、国内の2016年度上期（2016年4月から2016年9月）のビジネス向け新品パソコン出荷台数は、前年同期比でプラス13.1%（※）と、5四半期ぶりのプラス成長となり、今後は反転する見込みです。しかしながら、新たな機器が導入されてから使用済み機器が排出されるまでのタイムラグが想定より拡大し、その結果、企業等からの使用済み情報機器の排出台数は、予想より低調に推移し仕入れ競争も激しい状況となりました。この結果、売上高、売上総利益が当初予想より減少いたしました。なお、使用済み機器の排出の本格的な回復は2017年初旬からと想定しております。（※出典：MM総研「2016年度上期国内パソコン出荷概要」）

コスト面につきましては、間接コスト等の削減を大幅に進めましたが、中期的な事業成長と企業価値向上を最重視し、中期経営計画「VISION 2018」に基づく戦略投資は積極的に実施しております。また、新たな施策として、既存事業の収益性向上、サービス受注拡大のため、東京テクニカルセンターを閉鎖し、最新設備を備えた新・東京テクニカルセンターを新設いたしました。これに伴う設備投資、移転・閉鎖関連費用を計上しました。以上から、当初見込みより販売費及び一般管理費が増加し、連結業績・個別業績とも、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益の各利益が、それぞれ前回発表予想を下回る見込みとなりました。

なお、通期の業績予想につきましては、市場動向等を踏まえて現在精査中であり、判明次第速やかに公表いたします。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上